

「2023 新春なすかしフェスティバル」報告書

令和5年1月9日（金）10:00～14:00 日帰り

【目的・趣旨】

- ・ 青少年が伝統文化に触れる機会を提供する。

【参加者】

対象：小学生とその家族

実績：未就学児5名 小学生16名 大人21名 計42名

【プログラム概要】

【送迎バス】白河駅出発 8時30分

【送迎バス】新白河駅出発 9時00分

【送迎バス】西郷村文化センター出発 9時30分

【自然の家入所】10時00分

【書道パフォーマンス】10時10分～10時30分

書家の講師による書道パフォーマンスを行った。

【書初め体験】10時30分～11時40分

家族ごとに書初め体験を行った。

今年目標や好きな漢字などを書いた。

【昼食】11時40分～13時00分

自然の家レストランで昼食。

【だるまの絵付け体験】13時05分～14時00分

だるま（絵付けだるま（小）赤・白）に絵付けを行った。

【自然の家退所】14時15分

【送迎バス】西郷村文化センター到着 14時35分

【送迎バス】新白河駅到着 14時45分

【送迎バス】白河駅到着 15時00分

【成果】

- ・ 書道パフォーマンス→書初め体験の順で行ったことで、参加者から「自分もやってみたい！」というポジティブな声を多く聞くことができた。
- ・ 対象年齢を「小学生とその家族」としたことで、書初めや書道未経験の参加者（特に小学性低学年）にも伝統文化に触れる機会を提供することができた。

【課題と対応策】

- ・ 白河市出身の講師を招いたが、青少年を対象とした事業であったため、参加者と年齢が近い高校生や大学生を講師とすることで、より伝統文化を身近に感じることができたのではないかと考える。

→参考として白河市内の高等学校書道部など

国立那須甲子青少年自然の家 [作成] 総務係 久保田 翼

